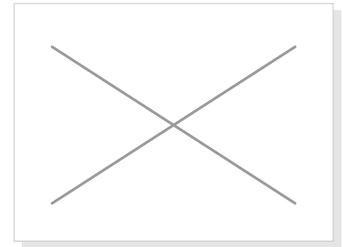


Xチャート / Yチャート / Wチャート

目的のために使うスキルと思考ツール

- ・根拠のある予想をするために**分類する**
- ・「Xチャート / Yチャート / Wチャート」を使うと…



使い方

視点を決めて整理・分類することで、お互いの関係に気付きやすくなります。それが、根拠のある予想につながります。

分類して予想の手がかりを探すために、Xチャート / Yチャート / Wチャートを使うときは、次のようにしましょう。視点が3つあるときはYチャート、視点が4つあるときはXチャート、視点が5つあるときはWチャートを使います。

1. 分類のグループに従って、写真やカードを分類します。
2. 分類した写真やカードを見て、同じ視点のグループにはどのような特徴があるのか、ほかの視点のグループとの間にはどのような違いがあるのか、などの気付いたことや考えたことを、カードに1つずつ書いて、貼っていきます。
3. 分類して気付いたことを手がかりに、同じ視点のグループの中で見つけた特徴同士やほかのグループとの特徴の違いを関係付けると、予想とその根拠が見つかりやすくなります。

使用例 【虫が見つかる場所についてのふしぎを予想するとき】

1. 「花だん」「草むら」「地めん」「木」の4つの視点で虫がいる場所を比べて、虫の名前を書いたカードや静止画、自分で撮った写真を貼ります。
2. 同じ視点に配置したものの中で、共通点として気付いたことはピンクのカードに、差異点として気付いたことは青のカードに書き、気付きのきっかけになったカードのそばに貼ります。また、別の視点に配置したカードから、気付いたことをカードに書いて貼ってもよいです。
3. 同じ視点のグループの中で見つけた特徴同士(虫の色、周りの色、天敵など)やほかのグループとの特徴の違い(色の違い、天敵の違い、食べ物の違いなど)を関係付けることで、「もしかしてこれが関係する？」などの予想とその根拠が見つかります。

例:まわりの色とにている虫が多いのはなぜかというふしぎに対して、天敵に見つかりにくいことが関係しているのかも

※やるキットの記入例